

2013年 白門祭報告

2013年度の白門祭は10月31日(木)～11月3日(日)の4日間開催されました。前日準備日にあたる10月30日(水)オープニングセレモニーとしてプラスコア部とチアリーディング部によるオープニングパフォーマンス、人気お笑い芸人「磁石」のお笑いライブや中大学生によるコピーダンスなどの企画で華やかに幕を開けました。

2013年度のテーマは「白い門には福来たる。」 本学の象徴である「白門」と、ことわざ「笑う門には福来たる」を掛け、白門祭に関わるすべての人が家族的なつながりを持ち幸福を感じてほしい、という願いが込められています。

4日間の開催日のうち、とくに3連休にかかる11月2日(土) 3日(日)は近隣住民や学員の方々、進学を検討されている中高生も数多く来場し、4日間の総来



場者数はのべ5万2千人以上におよびました。メインストリートとなるベデストリアンデッキ下層には、160以上の飲食企画の出店が並び、中央ステージ・第2ステージでは音楽演奏やダンスをはじめとした各種パフォーマンスが日頃の練習成果を披露、クレセントホールではシン

ガーソングライター・奥華子さんが無料コンサートを実施するなど、小さなお子さまから年配の方まで、白門祭を存分に堪能してくれたのではないかと思います。

学園祭での飲酒企画を中止・禁止する大学が増えているなか、本学では酒類提供企画をエリア限定で認めています。主催者である白門祭実行委員会の管理のもと、お客さまのご理解ご協力もあり、大きな事故もなく実施することができました。



中央大学マスコットキャラクター決定!

入学センターでは、本学学生に学生募集活動のマスコットキャラクター案を募集し、応募総数172点のなかから本学マスコットキャラクターとして、「チュー王子」を選出しました。また、人気投票では高い支持を得たものの、惜しくも次点となった「ハクもん」は、「中央大学入学センター営業係長」として、学生募集のために活躍してもらいます。今回の作品募集や人気投票の実施にあたっては、学生有志団体「C選組」に多大なご協力をいただきました。応募してくださった皆さま、また人気投票にご協力くださった皆さまに、心より御礼申し上げます。



選考方法

【一次選考】

「中央大学マスコットキャラクター選考委員会」(委員長：入学センター所長)を設置し、応募作品172点から最終候補作品を8点に絞り込みました。

【二次選考】

最終候補作品8点について在学生による学内投票およびオープンキャンパス来場者を対象に行った人気投票(投票総数4,896票)を参考に、当該選考委員会で最終的にマスコットキャラクターを決定しました。

経済研究所創立50周年記念事業

経済研究所は2014年6月に創立50周年を迎えます。経済研究所は、これを記念して「日本経済の再生と新たな国際関係」を統一テーマに掲げ、学内外の英知を結集するために創立50周年記念事業実行委員会を立ち上げ、2013年6月から公開研究会および公開講演会をはじめとする各種の記念事業を実施しています。本事業の成果は、ディスカッションペーパーや研究叢書として刊行する予定です。

経済研究所は、普段は学部の学生との直接的な関係が薄いといえますが、連続公開講演会は学生に国内外の経済問題に関する先端の研究成果に触れてもらうことを目的の1つにして開催しています。10月18日(金)実施の第3回目連続公開講演会では、岩田規久男日本銀行副総裁を多摩キャンパスにお招きして、「『量的・質的金融緩和』の目的とその達成メカニズム」というテーマで講演をしていただきました。当日は、学生や市民の方々、約800名の参加があり、講演会場とライブ中継会場として設営した8号館の2教室がいっぱいになり、デフレ脱却に向けた異次元の金融政策に対する関心の高さが伺えました。また、報道機関16社が取材に訪れました。

岩田副総裁は講演の冒頭で、中央大学経済学部出身でエコノミストとして活躍された岡田靖氏が、現在、日本銀行が実施しているリフレ政策の考え方を早い時期に提唱して大きな影響を与えており、副総裁と本学との関係浅からずというエピソードを紹介されました(岡田氏は、残念ながらリフレ政策が実際に採用されることを見ることなく2010年に早世されました) また講演後、副総裁には学生からのポイントをついた質問に丁寧に答えていただきました。このときの講演内容は以下の日本銀行のURLに公開されており、本学、経済研究所のWebサイトからアクセスすることも可能です。

http://www.boj.or.jp/announcements/press/koen_2013/ko131018a.htm/



本会場とともに満員となったライブ中継会場



経済研究所開催の講演会

開催日	講演者	テーマ
6/19	浅田統一郎 経済学部教授	アベノミクスの経済効果
7/17	中篠誠一 経済学部教授	通貨からみたアジアの未来
10/18	岩田規久男 日本銀行副総裁	「量的・質的金融緩和」の目的とその達成メカニズム
11/15	浜田宏一 イェール大学名誉教授 (内閣官房参与)	アベノミクスとマクロ経済学
12/6	山下一仁 キヤノングローバル 戦略研究所研究主幹	農業立国に舵を切れ 世界の中の日本農業



さらに11月15日(金)には、いわゆるアベノミクスのマクロ経済学的な意義について浜田宏一イェール大学名誉教授・内閣官房参与による公開講演会を多摩キャンパスで開催しました。2013年6月から12月までに開催した公開講演会は以下の表のとおりです。

今回の経済研究所創立50周年記念事業は、研究者だけではなく、市民の方々、そしてとりわけ学生諸君が先端の研究成果に触れる機会を提供することを意図して、引き続き12月以降も、記念事業の統一テーマに沿った各種事業を実施して参ります。